**令和４年度 第１回大津都市計画審議会議事録**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　場所　　　大津町役場4Ｆ全員協議会室

１　開会及び閉会に関する事項

　　開　　　会　　　　令和５年２月２０日（月）　　　　午前１０時００分

　　閉　　　会　　　　令和５年２月２０日（月）　　　　午前１１時３０分

２　出席委員の指名

　　大津町都市計画審議会委員　　　　　　　　　　　　　田中　智之

藤本　猪智郎

坂本　典光

津田　桂伸

荒木　俊彦

永田　和彦

豊瀨　和久

江口　弘展

高橋　慶彦

家入　立身

３　委員及び傍聴人を除く外、議場に出席した者の氏名

都市整備部長　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 村山 龍一

都市整備部都市計画課長　　　　　　　　　　　　　　 西岡 多津朗

都市整備部都市計画課主幹兼係長 　　　　 福岡 隆司

都市整備部都市計画課主事　 　　　 渡辺　諒

都市整備部下水道課長　 　　　 津田 三千人

都市整備部下水道課長補佐　 　　　 本司 貴大

都市整備部下水道課主査　　　　　　　　　　　　　　 荒巻　慧

４　公開の審議

　　（事務局）　　 　今回の議題であります「大津都市計画下水道の変更」は、非公開の要件に該当ないと考えられますので、会議の公開について審議をお願いします。

　　（田中会長）　　 　ただいまの報告のとおり、非公開とすべき要件に該当しないとのことですので、今回の議題につきましては、公開としてよろしいでしょうか。

 (委員全員)　　　 異議なし

５　傍聴人の有無

　　無し

６　報告

　　・大津町公共下水道事業計画認可の変更について

　　・新旧対照表

　　・変更区域について

　　・今後のスケジュール

７　質疑及び討論

　 質疑　開発行為により整備が完了している区域についても、追加されているが整備後に範囲に含めるというのは、事後対応と思うが正しい順序なのか。

　　　答弁 問題ない。範囲に入れることにより維持管理が有利になる。

　　　質疑　今後は造成や工業団地などで、流入量が増える可能性があると思うが想定はされて

いるか。

　　 答弁　工業団地については、事業計画の拡大や処理場の増設など検討していく必要がある。

　　 質疑　処理場の余裕はあるのか。

　　 答弁　今年度末に3800tの増設が完了し通常の人口増を補う。来年度から工業団地分などに対応できるよう4系の計画を前倒しする予定。

質疑　浄化槽から下水道になることで何が変わるのか。

答弁　初期投資は必要だが浄化槽と比較すると維持管理が有利となる。

質疑　浄化槽からの切り替えはどう行うのか。バイパスするような形となるのか。接続には合

意が必要となるのか。

答弁　その通りです。また、工事に入る前に該当される方については、同意書をいただいてて、本管及び公共桝工事のほうを進めていく。拒否された場合は、将来簡易的な工事で接続出来るよう、本管から敷地に向けて管のみを敷設している。

質疑 下水道接続の費用はどの程度か。

答弁 　受益者負担金が300円/㎡、工事費用が1～2万円/ｍ。浄化槽からの切替工事は20万円程度かかった事例はある。各家庭で金額が異なるため、見積りをとってもらうよう説明をしている。

質疑　 計画区域に入れれば補助金があるということだが、計画に含めない場合は誰の負担になるのか。補助金はどの程度あるのか。

答弁 　町で地方債や使用者の使用料を財源とすることになる。補助金は国から事業費の1/2程度である。

質疑　 国道の西側についてはなぜ遅れたのかを住民に説明されるのか。

　　　答弁　 この区域につきましては、令和4年11月18日に説明会を行い、町の用途地域見直しに併せて事業計画区域を拡大し、今後整備を進めていくこと。これからかかる費用と今後の測量設計から工事の流れについても説明済。

　質疑　合併浄化槽から下水道に切り替えた場合、どの時点で下水道が得となるのか。

　 答弁　5人槽の浄化槽と比較すると、年間約2万8千円程度有利になる試算があると説明している。その場合、概ね１５年と考える。

８　議決

　　（田中会長）　　それでは、以上でご意見なしとのことで、大津都市計画下水道の変更につきましては、異議なしとご報告します。

　　（委員全員）　　異議なし